

中間報告書

令和2年9月28日現在

1 事業名

モモペーストを利用した6次産業化による地域づくり推進事業

2 実施期間

令和2年6月10日～令和3年2月28日

3 事業内容

①事業の目的・概要

備中地域特産のモモは、加工への仕向けは僅かであるため、モモの6次産業化に取り組み、地元での事業化を備中県民局、農業普及指導センター、JAなどと協働でサポートするとともに、モモの生産振興と農業者の所得向上を目指す。

そこで、モモ6品種についてペーストを試作し、特徴ある二次製品を開発する。さらに、評価検討会によるブラッシュアップを図り、モモの加工用途の拡大を試みる。

②事業の流れ・進捗状況等

<実施したこと>

・「モモペースト」の試作

- 品 種：①加納岩白桃（令和2年7月6日～10日実施）
②白鳳（令和2年7月15日～20日実施）
③清水白桃（令和2年8月3日～11日実施）
④おかやま夢白桃（令和2年8月12日～13日実施）
⑤白麗（令和2年8月14日～18日実施）

内 容：クエン酸とアスコルビン酸またはレモン果汁を加えたモモペーストを試作した。今回試作した5品種のペーストの品質については、清水白桃の風味がわずかに強かったが、品種間に大きな差は見られなかった。

・「モモペースト」用一次加工処理についての技術研修会の開催

実施日：令和2年7月28日、30日、31日、8月4日
場 所：（一社）岡山県農業開発研究所 農産加工実習プラント棟
対象者：JA晴れの国岡山 岡山西女性部「きびの華山手」延べ54名
内 容：総社市産「清水白桃」を使ったケーキ菓子製造原料のための一次加工処理技術についての実習研修。

・「モモペースト」現地加工研修会の開催

実施日：令和2年8月19日
場 所：JA晴れの国岡山 清音加工施設
対象者：JA晴れの国岡山 岡山西女性部「きびの華山手」5名
内 容：「白麗」を使用し、クエン酸とアスコルビン酸またはレモン果汁を加えた2種類のモモペーストについての現地加工施設での実習研修。

- ・「モモペースト」の利用

食品製造業者とタイアップし、「モモペースト」の二次加工品への適性評価と、販売先、販売価格などの考えを取り入れながら、ペーストを利用した煎餅風焼き菓子や冷凍販売の生菓子、ドレッシング等の二次製品について試作・検討を重ねている。

<今後、実施すること>

- ・「モモペースト」の試作と利用

玄桃（秋季収穫）のペースト調製とこれを加えた全6品種の「モモペースト」について、試作の継続と品種ごとの加工適正評価を行う。

- ・「モモペーストを使った二次製品」の評価・検討会等の開催

試作した二次製品について、備中県民局、農業普及指導センター、バイヤー、消費者などとの評価・検討会等を実施し商品化に向けたブラッシュアップを行う。

- ・先進地の情報収集

中四国地方などで果実の加工品を製造販売する食品専門業者の視察を行う。

③これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

本事業で蓄積したモモペーストの加工技術の指導を行い、6次産業化や農商工連携に取り組もうとする農業者や生産組合などの事業者の掘り起こしを、備中県民局、農業普及指導センター、JAなどとタイアップしてサポートすることにより、6次産業化などの事業に向けた動きの活性化を図る。

④課題等

・コロナ禍における、先進地での情報収集及び「モモペーストを使った二次製品」の評価・検討会の実施

4 参考事項・資料

収支精算書見込又は収支（変更）予算書

写真

二次審査意見に対する対応